

平成 29 年度 第 1 回 認知症対応型通所介護運営推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	清和園 久世ホーム
事業所	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護

● 開催日時・場所

日時	平成 29 年 8 月 25 日 (金) 13:45~14:15
場所	久世ホーム 会議室

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	久世学区民生児童委員協議会	植松様
2	京都市久世地域包括支援センター 社会福祉士	千木様
3		
4	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護 久世ホーム副施設長	中村 真悟
5	京都市久世老人デイサービスセンター認知症対応型通所介護 (担当者)	好峯 亮
6		
7		

● 議事

NO	議事内容
1	利用状況について
2	事故報告、苦情について
3	事例照会
4	その他 (質疑応答等)

● 記録

議事 1	利用状況について
	<p>平成 29 年 2 月～平成 29 年 7 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数…42 名 休止者…5 名（入院・体調不良により長期休みの方） ・利用定員 12 名 ・稼働率 100%
議事 2	事故報告、苦情について
	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書について 平成 29 年 2 月～平成 29 年 7 月 19 件 転倒…10 件 車で指つめ…3 件 剥離…6 件 <p>→中村副施設長より 介護の現場では、転倒事故はつきものである。どれだけ注意をしても、完全に防ぐということは難しい。しかし、認知症の特性、利用者の方々の状態を把握し、出来る限り転倒事故を防いでいく必要がある。</p> <p>車のドアで指詰めに関しては、職員の注意不足によるものが多い為、注意が必要である。忙しい中で仕事をしているということは理由にならない。そこはプロとして今後気を付けていく必要がある。</p>
議事 3	事例照会
	<p>I 様 要介護 4 女性</p> <p>以前より、一般デイサービスをご利用されている。認知症の進行に伴い、自身の主張を強く言われるようになり、感情の制御が出来なくなってきた。少しでも自身の思うようにいかないと大声を上げられ職員を呼んだりされる。周りの利用者様からも注目を浴びるようになり、他の利用者様より「静かにしなさい」等、怒られるようにもなってきた。</p> <p>落ち着いた環境で過ごせること、職員が手厚く支援できるようにと、29 年 6 月～認知症対応型デイサービスへ移行となる。</p> <p>→移行後も、訴えは続くものの、職員が対応出来る為、以前ほど強く訴えを言われることは減った。また、周りの利用者様からも注意をされることもなくなり、落ち着いた環境で過ごしていただけている。</p>
議事 5	その他（質疑応答等）
	<p>中村副施設長→認知症対応型デイサービスは、現在 100%の稼働率で運営している。それは、この地域にそれだけのニーズがあるということである。本来であれば、自宅での生活が困難で、施設入所を余儀なくされる方も、認知症専門のデイサービスがあるこ</p>

	<p>とで、在宅生活が継続できている。地域密着型サービスの一端を担えているのではないかと感じている。</p> <p>出席者→自分の親も久世デイサービスを利用している。デイサービスの日になると、朝起きて準備をしている。楽しんで行っているので助かる。</p>
--	---

以上

担当者	好峯 亮
-----	------